



しゃかの本地

18世紀頃（江戸時代中期）

美しい絵でおしゃか様の足跡をたどる

しゃかの生涯を読みやすい物語風に記した本です。金と極彩色を使っている挿絵が特徴で、本書のように1点ずつ手作業で制作された鮮やかな絵入りの短編物語を「奈良絵本」といいます。展示ページは、しゃかが涅槃（ねはん）に入る（亡くなる直前の）最終場面です。横たわるしゃかを弟子と動物たちが囲み、中には泣き崩れる者、その身にすがりつく者もいます。

The Original Reality of Buddha, 18th century, Japan

In this book, Buddha's life is portrayed in an engaging, easy to follow story. The illustrations are painted in rich colors and gold. This book's handmade style and illustrations are categorized in Japan as Nara-e-hon. The page on display shows the Buddha entering Nirvana. You can see his pupils and surrounding animals bursting into tears and clinging to his body.



しゃかの本地 (江戸時代中期) 絵入り写本

美しい絵でお釈迦様の足跡をたどる



顔を描きいれてみましょう。
どんな表情をしています

【どんな本?】
釈迦(しゃか)が生まれてから死ぬまでを描いたお伽草子(おとぎぞうし)です。親子の愛を強調している点が大きな特徴(とくちょう)です。

【涅槃(ねはん)って?】
仏教では悟りを極めた人が亡くなることを「涅槃入滅(ねはんにゅうめつ)」と言います。釈迦は80歳で亡くなりました。

【やってみよう】
1. 釈迦の周りに集まっているのはどんな人たちですか?

2. どんな動物が描かれていますか?

3. 釈迦が横たわる地面の模様をスケッチしてみましょう!

4. 泣いている人のポーズに注目すると、どんなことがわかりますか?

Blank lined area for student responses.